

第七十六回帝國議會 院 (米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第六回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
農地開發法案(政府提出)(第八〇號)

會議

昭和十六年二月十七日(月曜日)午前十時一十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君

理事岡田喜久治君 理事吉植 庄亮君

理事成島 勇君 理事松浦 伊平君

池田七郎兵衛君 石井徳久次君

石坂 繁君 小笠原八十美君

小串 清一君 大石 大君

長野 綱良君 北 勝太郎君

北村 文衛君 小平 重吉君

坂下仙一郎君 須永 好君

鈴木 文治君 土田 莊助君

坪山 徳彌君 松田喜三郎君

三善 信房君 服部 岩吉君

渡邊 健君

同日委員吉田賢一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ大石大君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 石黒 忠篤君

出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 周東 英雄君

農林省農政局長 岸 良一君

食糧管理局長官 湯河 元威君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農地開發法案(政府提出)

○村上委員長 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマ

ス、農地開發法案ヲ議題ニ致シマス、先ヅ

農林大臣ノ御説明ヲ求メマス

○石黒國務大臣 農地開發法案ノ提案理由

ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、主要食糧等ノ自給強化ノ方策ヲ確立致シマスコトノ急務デアルコトハ、御承知ノ通りデゴザイマシテ、食糧問題ノ重要性ニ關シマシテハ、先般當院ニ於テ御決議ニナリマシタコトノ御趣旨モ、全ク其ノ重大性ヲ御認メニナツタ結果デゴザイマセウト存ジマス、其ノ實行ニ當リマシテハ、應急ノ對策ト又長期ニ互リマスル方策ト兩方考ヘテ參ラナケレバナラスト存ジマスノデ、長期ニ互リマスル内外地及ビ日滿支ヲ通ズル綜合的計畫ニ基キマシテ、將來ノ人口増加等モ考ヘマシテ、國民經濟ノ圓滑ナ運営ニ資シ、必要ナ貯藏ヲモ、將來ト致シマシテハ各地域ニ於テ十分ニナシ得ルヤウニ、ソレノ計畫的増産ヲ圖ル必要ガアルト考ヘテ、此ノ點ニ關シマシテ將來密接ナ連絡ヲ執ツテ進ミタイト考ヘテ居リマス、内地ニ於キマシテハ外地、外國等ニ對シマスル依存程度ヲ成ベク少カラシムルト云フコトガ、國際關係ノ極メテ非常ナル狀態ニ陥ルコトナキヲ保セザル狀態カラ考ヘマシテ、極力内地ノ増産ヲ行フコトガ必要ダト確信ヲ致シマシテ、其ノ自給ノ程度ヲ強化スルヤウニ致サナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスルト、國土ノ中ニ於キマシテ農地ノ擴張改良ヲ圖ルコトガドウシテモ大切ナコトニ相成ルノデアリマス、之ニ關シマシテハ我が國古來ノ開拓ノ歴史ニ示シテ

居リマスヤウニ、開墾ノ初メト云フモノハ中々算盤等ニ於テハ取リニクイ事情ガ澤山アルノデアリマス、是ガ漸次ニ良好トナリマシテ、今日ノ國內食糧給源ヲ立派ニ形ヅクツテ居ルヤウナ次第デアルノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ考ヘマシテ、主要食糧ノ需給事情ト増産可能程度ヲ考慮致シマシテ、茲ニ増産計畫ノ見地カラ致シマシテ本案ヲ立テマシタ次第デアリマス、即チ米穀ニ於キマシテハ、昭和十六年乃至昭和二十七年第一期計畫ト致シマシテ約千百万石、麥類ニ於キマシテハ、昭和十六年乃至昭和二十八年第一期計畫ト致シマシテ約千二百万石ト云フ目標ヲ置イテ居ル譯デアリマス、而シテソレノ増産ノ第一期計畫ノ完了後ニ於キマシテハ、米穀約八千二百万石、麥類約二千五百万石ノ生産ヲ確保スルコトニ致シタイト云フ計畫デゴザイマス、此ノ増産計畫ヲ達成致シマスル爲ニハ、先程申上ゲマシタヤウニ、其ノ重點ヲ耕地ノ擴張及ビ改良ニ置クコトト致シマシテ、極力農地開發ニ關スル事業ヲ促進スルコトト致シマシテ、特殊ノ法人デアリマスル農地開發營團ヲ設立致シマシテ、國家ノ十分ナ監督ノ下ニ於テ農地ノ造成及ビ改良事業ヲ計畫的ニ遂行セシムルト共ニ、開墾其ノ他農地開發ニ關スル從來ノ國家ノ助成施設ハ更ニ之ヲ擴充強化スルコトト致スコトガ肝要ト考ヘマシテ、本法案ニソレヲ組込ミマシテ提出致シタ次第デアリマス

本案ノ内容ノ主ナルモノヲ類別シテ申上ゲマスルト、第一ハ政府ハ農地ノ造成又ハ改良ヲ行フモノニ對シ、毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付スルコトト致シテアルノデアリマス

第二ハ是等ノ農地ノ造成又ハ改良ヲ促進スル爲ニ、農地開發營團ナル特殊法人ヲ設立致スコトト致シマシテ、之ヲシテ國家的見地ニ於キマシテ農地ノ開發ヲ計畫的ニ行ハシムルコトト致シタノデアリマス

第三ハ右ノ農地開發營團ノ資本金ヲ三千万圓ト致シ、内千五百万圓ハ政府ガ出資ヲスルコトト致シマシテ、他ノ千五百万圓ハ民間ヨリ出資ヲ求メタイト存ジテ居リマス、而シテ其ノ出資ニ對シマス利益ノ配當ハ、勅令ヲ以テ定メル率ヲ超エルコトヲ得ナイコトト致シマシテ、政府ニ對スル出資ニ對シマシテハ配當ヲ減額シ、又ハ之ヲナサザルコトヲ得ルモノト致シテ居ルノデアリマス

第四ハ本營團ハ拂込資本金額ノ五倍ヲ限リ農地開發債券ヲ發行スルコトヲ得セシメマシテ、此ノ債券ハ租稅ノ關係ニ於キマシテ地方債並ノ取扱ヲ受ケルコトト致シマシテ、其ノ元利支拂ニ付キマシテハ、政府ハ之ヲ保證ヲ致スコトト致シタノデアリマス

尙ホ本農地開發營團ノ行ヒマス事業ノ本質ニ鑑ミマシテ、補助金ノ交付、土地收用權ノ附與、稅法上ノ特典ノ供與其ノ他適當ナル助成方法ヲ執ルコトト致シ、經營ヲ容易ナ

ラシメルト共ニ、完全ナル事業ノ遂行ヲ期セシメテ目的達成ニ遺憾ナカラシメルコトニ致シタ次第デゴザイマス

大體右ノ要點ヲ以テ立案致サレテ居ルノデアリマス、何卒御審議ノ上、速カニ御可決アラント御願ヒ致シマス

○村上委員長 資料ノ要求ガアルナラバ此ノ際御要求ヲ願ヒマス

○成島委員 資料ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、農地審議會ノ會議要綱、ソレカラ全國小作慣行ノ調査ガアリマシタナラバ其ノ大體、ソレカラ全國永小作權ニ關スル調査、本法案ノ勅令ナル事項、ソレカラ農村關係國策會社ノ名前、其ノ目的、資本金及ビ設立ノ時期、サウ云フモノヲ御願ヒシタイ、ソレカラ休閒地ノ府縣別調査、甲乙河川ノ不用敷地面積、其ノ府縣別調査、ソレカラ田畑ノ荒廢地ノ府縣別調査、次ニ小作爭議ニ依ル作付不能面積ノ府縣別調査、農地開發可能、詰リ一團地百町歩以上ノ府縣別調査ヲ御提出願ヒタイト思ヒマス

○小笠原(八)委員 國有地ヲ牧野トシテノ開放ノ豫定地及ビ其ノ面積、既ニ契約済ノモノト、未契約ノモノ、又未契約ニナツタ其原因ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ全國ノ牧野ノ簡處ト面積ニ付テ國有ト個人有トノ區別ヲ御示シ願ヒマス

○石井委員 私有資料ノ御提出ヲ願ヒマス、ソレハ既ニ豫算ノ決定ヲ致シテ居リマス耕地關係ノ事業ニシテ、今日マデ未着手ニナツテ居リマス反別及ビ金額ヲ御調べ願ヒマス

○北(勝)委員 北海道拓殖計畫ト農地開發ノ此ノ法ト何カ抵觸スル面ハナイカ、其ノ點ニ對シテ北海道拓殖計畫ノ内容ヲ一ツ御

知ラセ願ヒマス

○村上委員長 尙ホ後ヨリ思付キガアツタナラバ御申出ニナツテ宜シウゴザイマス、ソレカラ資料ハ出來ルダケ速カニ御提出ヲ戴キヤウニ希望致シマス——是ヨリ質疑ニ入ルコトニ致シマス——渡邊健君

○渡邊委員 現在ノ日本ノ農業經營ハ頗ル小規模ノモノデアリマシテ、統計ニ依リマスト、一軒ノ農家が働イテ他ノ職業ニ從事シテ居ル者ノ一戸シカ養ヘナイト云フヤウナ收穫量ヲ擧ゲテ居ルヤウナ狀態ダト思ヒマス、之ヲ外國ニ比較シテ見マスト、外國ハ大抵一軒ノ農家が働イテ二戸、三戸或ハソレ以上ノ他ノ職業ノ者ヲ養フダケノ收穫ヲ擧ゲテ居ルヤウデアリマス、現在ノ日本ノ國情カラ考ヘテ見マシテ、人口問題ガ非常ニ論議サレテ、人ヲ非常ニ多ク要スルト云フヤウナ時期ニ、斯ウシタ農業經營ハ今後モズツト續ケテ行クコトガ宜イカドウカト云フコトハ頗ル疑問ダト思ヒマス、之ニ對シテ政府ハドンナ御考ヘテ持ツテ居ラレルカ、此ノコトヲ伺ツテ置キマス

○石黒國務大臣 只今ノ渡邊サンノ御尋ネデアリマスガ、一寸私ノ能ク分リマセヌノハ、外國ノ農家ハ一軒デ以テ他ノ職業者數戸ヲ養ツテ居ルト云フ御比較デゴザイマス、私ハ必ズシモサウデナイト考ヘテ居リマス、國ニ依ツテ色々違ヒマスルノデアリマシテ、植民地的ノ所トサウデナイト所デ餘程違フト思フノデアリマス、何處ト御比較ニナリマシタカ知リマセヌガ、一概ニサウ云フ比較ハ難カシイコトト考ヘルノデアリマス、御質問ノ要點ハ、他ノ工業等ニ於テ勞力ヲ要求スルコト多イ現下ノ國情ニ於テ、ソレ等ヲ養フヤウニ農業ハナケレバナラヌデヤナ

イカト云フ點ニオアリニナルノデハナイカト考ヘマス、御説ハ御尤モデアリマス、併シ工業人口其ノ他ノ食糧ヲ供給スルト云フコトダケニ、内地ノ農業ノ使命ヲ置クカドウカト云フ問題ガ大キナ問題ダラウト思フ、成程農業自體ノ生産物消費ト云フモノハ極度ニ少ク致シマシテ、他産業従事者ニ對シテ、農業生産ヲ提供スル分量ヲ餘計ニスルト云フコトノ爲ニハ、極メテ大規模ノ、勞力ヲ要スルコト少イ、機械ヲ用ヒルコト多イヤウナ經營ノ方法ヲ茲ニ想像致シマスレバ、農業消費ト云フモノガ少クナツテ、搬出致スベキ數量ガ餘計ニナルト云フコトハ明カナコトデアリマス、是ハ米國ノヤウナ大規模ノ農業ヲヤルノニ適シタ條件ノ國ノ農業トシテハ是認スルコトガ出來ヤウト思フ、我國ノ如キ自然的及ビ社會的條件ノ特殊ナ所、殊ニ沿革上色々ナ制約ガアリマスル國柄ニ於キマシテ、個々ノ農業ヲドウスルカト云フコトハ、必ズシモ今ノヤウナ一點デ以テ決定スベキモノデヤナイト私ハ考ヘルノデアリマス、寧ろソレヨリモ米國ノ或ル時ノ大統領スラ申シマシタヤウニ、農村ノ一番大事ナ生産ト云フモノハ人ノ生産デアルト云フコトデアリマス、サウ云フ點ニ重キヲ置イテ農業ヲ考ヘテ行ク必要ガアルノデヤナイカト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ意味ニ於テ、只今マデノ日本ノ農業ノ發達ト云フモノハ、極メテ適當ナ徑路ヲ辿ツテ來テ居ルモノデアツテ、即チ多數ノ農民經營ニ依ツテ農業ガ維持サレテ居ル、農家ノ家族勞働ヲ中心ト致シマシタ農業ガ繼續サレテ居ルト云フコトガ、斯様ナ時期ニ際會致シマシテ、軍隊ヲ初メ各方面ニ必要ナル勞力ト云フモノノ給

源トシテ、何處マデモ立派ナ人ヲ供給シテ居ルト云フコトニ堪ヘ得タ源泉ヲ養ツテ來タト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ此ノ點ハ十分ニ重要視致シマシテ、國ノ政策ヲ樹テネバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ只今御指摘ノヤウニ、何ヲ申シマシテモ一農家ノ耕地面積ト云フモノハ狹キニ失シテ居ルコトハ御指摘ノ通りデ、今日農業勞働ノ問題ガ他ニ勞力ヲ取ラレマスル關係上、農村ニ於テハ盛ニ懇エラレテ居ル點デゴザイマシテ、隨分此ノ點ニ付テハ心配ガナイノデアリマセヌガ、併シ順次ニ變リマシテモウ少シ大キナ農家經營ニシテ行クコト、即チ勞力ヲ取ツテモ尙且單位面積當リノ農業生産ハ減ラナイ、或ハ増シテ行クコト云フ方法ヲ執リマシテ、外ハ出シマスル農業生産物ノ量ヲ餘計ニスルト共ニ、農家自體モ強ク太クナツテ行クコト云フ點ガ、モウ少シ廣クアルダラウト考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ハ御指摘ノ如ク十分ニ努メルベキ將來ガアラウカト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 今マデノ増産ヲドンナ風ニ推奨スルカト申シマスルト、肥料モ十分ニアル、勞力モ十分ニアル、サウ云フ惠マレタ條件ノ下ニ、反當ノ收穫ヲ如何ニ多クスルカト云フコトニノミ政府モ、地方農會等デモ推奨シテ來タノデアリマスガ、現在ノ狀況ニナリマスト斯ウシタ方面ノ推奨デナク、如何ニ勞力ヲ少クシテ、如何ニ限ラレタル肥料ノ下ニ増産スルカト云フコトニ、重點ヲ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、現在政府ガ色々ノ政策ヲ樹テテ農村ニ向ツテ居リマスガ、今農家デハ米ヲ作ルコトハ一番割ガ惡イト云フコトヲ言ツテ居

リマス、實際考ヘテ見マシテモ、例ヘバ甘
諸ヲ作ルノニ、一反歩甘諸ヲ作ツテドノ位
ノ手間ガ要ルカト云フト、私ノ地方デハ約
十八人手間ガ要ル、水稻ヲ作ルト二十一人
半乃至二十三人位ノ手間ガ要ル、陸稻ヲ作
ルト二十五人位ノ手間ガ要ル、反當收穫カ
ラ云フトドシテ風ニナルカト云フト、是ハ
栃木縣農會ノ統計ニ依ルト一反歩百四圓三
十錢ニナルサウデアリマス、芋ヲ作ツテモ、
手間ヲ掛ケズニ、肥料モ米ノ半分シカ掛ケ
ヌデ、ヨリ以上ノ收穫ガアル、煙草ヲ作ル
ト二百圓カラ三百圓ニナル、野菜ヲ作ツテ
モ二百圓前後ニナルト云フコトデ、米ヲ作
ルコトハ一番農村トシテハ割ガ惡イト云フ
ヤウナ空氣ガ滲ミ込シテ居ルコトハ事實ダ
ト思ヒマス、ソレデ農村トシテ一番惡レテ
居ルコトハ何カト云フト、風水害又ハ病蟲
害ノ災害デアリマス、ソレニ對シテ政府ハ
農村ニ農業保險ヲ實施シテ下サイマシテ、
之ニ對シテハ農民トシテハ非常ナ期待ヲ以
テ是ガ實施ヲ望シ居タルデアリマスガ、
併シ實際ニ行ハレテ見マスルト、農村ノ期
待トハ可ナリ隔リガアルデアリマス、今
マデノ自由主義機構ノ下ニ於テハ、米ガ不
作デ收穫ガ少カツタ場合ニハ、米ノ値段ガ
上リマシテ、其ノ損害ヲ消費者ガ負擔シテ
與レタルデアリマス、現在ノヤウニ米ノ値
段ガ一定シマシテ、政府ガ米ヲ國家管理ニ
スルヤウニナリマシタ以上ハ、此ノ損害ニ
對シテ、今マデノ農業保險ガヤツテ居ツタ
ヤウナ考ヘト別ナ考ヘデ、之ニ對シテ臨シ
テ行カケレバナラヌデヤナイカト思フ
デアリマス、之ニ對シテ政府ハドシテ御考
ヘヲ持ツテ居ラレカ、御伺ヒシタイト思
ヒマス

○石黒國務大臣 只今渡邊サシノ御尋ネノ
米作農家ノ經濟ノ問題ニ關シマシテハ、今
期ノ議會ニ於キマシテ、當委員會ニ於テモ、
又外ノ場合ニ於テモ、屢々米價ノ問題ガ論
議ニ上リマシテ、御同様ノ御意見ヲ伺フ
デアリマス、又議會以外ニ於キマシテモ、
私共農村方面カラ始終聞イテ居ルノデアリ
マス、米ヲ作ルノガ外ノモノヲ作ルノヨリ
モ採算上餘程不利益ニナツテ居ルト云フヤ
ウナ具體的ノ事例ハ、私共モ承認セザルヲ
得ナイモノガアルデアリマス、是等ハ能
ク米價ト其ノ他ノモノトノ價格ノ均衡ノ上
ニ於キマシテ、十分ニ考慮ヲ致サナケレバ
ナラヌモノガアルト私モ認メテ居リマスノ
デアリマス、將來慎重ニ考慮致シマシテ、
善處致シタイト云フコトヲ其ノ折ニ何時デ
モ申上ゲテ居ル譯デアリマス、左様御承知
ヲ願ヒマス

○渡邊委員 私ノ御伺ヒシタノハ農業保險
ノ問題デアリマスガ、政府ハ今マデノヤウ
ナ考ヘデヤハリ農業保險ヲ實施シテ行カレ
ルノカドウカ、今マデハ、先程モ申上ゲマ
シタヤウニ、災害ノ爲ニ不作デアツタ場合
ニハ、其ノ米ガ値ガ上ル、詰リ消費者ガ農
民ノ損害ヲ負擔スルヤウナ形ニナツテ居
タルデス、今度ハ米ノ値ヲ一定シテ置イテ、
之ヲ國家管理ニスルト云フコトニナルト、
農業保險ニ對スル政府ノ考ヘモ、今度ハ消
費者ノ側ニ立ツテ考ヘテ行カケレバナラ
ヌノデヤナイカト思フノデス、詰リ今少シ
幅ノ廣イ保險金ノ増額ト云フヤウナコトヲ
シナクチャ農村トシテハ非常ニ困ルノデヤ
ナイカ、例ヘバ水稻ガ旱害ニ遭ツタ、併シ
今マデハ二石穫レタルガ一石シカ穫レナカ
ツタ場合ニハ、其ノ値ガ上ツテ農村トシテ

ハ幾ラカ救ハレタルデアリマス、今度ハ値
ガ上ラナイノデアリマスカラ、ソレヲ保險
ノ方デ何トカ考慮シテヤル御考ヘハナイカ
ドウカト云フコトデアリマス

○石黒國務大臣 御答ヘ致シ漏レマシテ甚
ダ相濟ミマセヌ、能ク分リマシタ、農業保
險ノ從來ノ實行ノ上カラ申スト云フト、不
作ノ時ニハ大體ニ於テ例外ナク米價ガ上ル
ノデアリマス、其ノ場合ニ於ケル一方ノ損
失ハ或ル部分米價ノ騰貴ト云フコトニ依ツ
テ消費者ノ負擔ニ轉嫁スルコトガ出來ル
ト云フ、サウ云フ事情ノ下ニ於ケル制度デ
アツタノガ、今度ハ米價ノ制度ガ變ツタカ
ラ、保險ノ制度ノ上ニ於テ影響ヲ持ツテ來
ルト思フガ、ソレヲドウスルカト云フ御尋
ネデアリマス、御指摘ノ點ハ確カニ考慮ヲ
致サナケレバナラヌ點ト考ヘマス、ソレヲド
ウ云フ風ニシテヤル意圖ヲ持ツテ居ルカト
云フコトハ、只今何等決マツタ考ヘヲ持ツ
テ居リマセヌ、十分ニ考ヘマシテ、適當ナ
方法ヲ執リタイ、或ハ制度ヲ變ヘルナリ、
其ノ他ノ方法ヲ執ルト云フコトニ付テ、考
慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 此ノ問題ハ米ノ値段ヲ上ゲル
カ、或ハ据置クカト云フコトト非常ニ關係
ヲ持ツモノダト思ヒマスガ、能ク御研究ノ
上適當ニ善處シテ戴キタイト云フコトヲ御
願ヒ申上ゲマス

ソレカラ農業保險ノ問題デアリマスガ、
私ハ茨城縣デアリマスガ、茨城縣ハ陸稻ガ
非常ニ多ク出來テ居リマス、今年ハ陸稻ノ
旱害ガ酷クアリマシタガ、保險料ヲ陸稻ニ
對シテハ第二類トシテヤツテ居ルノデアリ
マス、二十錢ヅツ取ツテ居リマシテ、保險
金ノ支拂ヘドウカト云フト、全ク無收穫ノ土
地デモ四十錢シカ拂ハナイト云フ狀態デア
リマス、一反歩四十錢位ノ金ヲ貰ツテモ、
是ハ種代ニモナリマセヌ、之ヲ將來第二類
トシテデナク、第一類ニスル御考ヘガアル
カドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒ
マス

○周東政府委員 御話御尤モデアリマス、
一寸附加ヘテ申上ゲマスガ、只今ヤツテ居
リマスノハ、所謂農業保險ト申シマシテ
モ、御承知ノヤウニ收穫保險のナコトヲ
ヤツテ居リマスノデ、大體ガ共濟制度の
ニ、一定ノ限度以上ノ收穫ガナカツタ場
合ニハ、二十圓ヲ最高限度トシテ、一定
ノ見舞金程度ノモノヲヤルト云フヤウナ
形ニ出來テ居ルノデアリマス、隨テ未ダ積
立金等モ十分造成出來ナイ當初ニ於キマシ
テ、斯ウ云フ風ナ大キナ旱害ガ出マシタ
ノデアリマスカラ、自ラソコニ見舞金ト
シテ出ス金ノ少クナツテ參ツタコトハ、
甚ダ氣ノ毒ニ堪ヘマセヌガ、ソレ等ニ對シ
マシテハ政府ニ於キマシテモ或ル程度ノ助
成金ヲ出シマシテ、ソレニ應ズルト云フコ
トニナツテ、幾分ノ金ガ豫算ニ含マレテ居
リマス、ソレデ御承知ヲ願ツテ置キタイト
思フノデアリマスガ、陸稻共濟制度ヲ布ク
ト致シマシテモ、第一類ノ取扱トシタラド
ウカト云フ問題デアリマス、ソレニ付キマ
シテハ、陸稻以外ノ問題モアリマシテ、餘
程慎重ニ考ヘナケレバナラヌモノデアラウ
ト思ヒマス、陸稻ハ御承知ノヤウニ、出來
ル時ニハ非常ニ良ク出來マスガ、一タビ旱
害デモアリマス、全ク收穫皆無ニナルヤ
ウナ、非常ニ危險性ノ多イモノデアリマス、
サウ云フモノヲ入レバ入レル程此ノ共濟
制度ノ實施ガ難カシクナリマスノデ、ソコ

ニ惱ミガアルノデアリマスガ、慎重ニ考究致シタイト思ヒマス

○渡邊委員 非常ニ危險性が多クテ惱ミガ多イト仰シヤルコトハ、政府トシテ考ヘタコトデ、農民側トシテ考ヘマス、惱ミガ多イカラ却ツテ第一類トシテ取扱ツテ戴キタイト云フコトヲ考ヘルノハ當然グラウト思ヒマス、サウ致シマスルト、私共ノ茨城縣ノ方ノ關係カラ申シマス、陸稻ト云フモノハ段々減ツテ來ハシナイカト思ヒマス、品種ノ改良等ヲ致シマス、段々増産ニ向イテ居ツタデアリマスガ、ドウモ年々サウシタコトヲ二、三年續ケラレルト云フト、米ノ全額ノ收穫ト云フモノガ、非常ニ減ツテ來ルノデハナイカト思ヒマス、此ノ際思ヒ切ツテ相當ノ犧牲ヲ拂フ覺悟デ、政府ハ之ヲ第一類ニ編入シテヤツテ戴キタイト云フコトヲ、特ニ御願ヒ申上グルノデアリマス

ソレカラ今マデ先輩各位カラ御伺ヒシテ、大體御返事ヲ得テ居ルト思ヒマスガ、農村人トシテハ皆今度ノ議會ニ對シテ、非常ナ期待ヲ持ツテ聞イテ居ルコトデアリマスカラ、是ハ小サナコトデ或ハ前ニ質問シタコトカモ知レマセヌガ、重ネテ御伺ヒ致シマス、ソレハ甘諸ノ問題デアリマス、御承知ノ通り甘諸ノ價格ハ、先日モ此處デ御話ガアリマシヤウニ、政府ガ買上グルノハ一貫目十五錢、澱粉工場並ニ燒酎會社ヘ賣ルノハ十八錢、食用ハ二十五錢乃至五十錢デアリマス、品種ガ少シハ違フカモ知レマセヌガ、大體同ジ芋デ値段ガ斯ウ開イテ居ルト云フコトハ、農民側ニ取ツテ頗ル分ラヌノデアリマス、ナゼ斯ウ値段ガ違フノカ、政府ノ「アルコール」工場ヘ賣ルノニハ同ジ品物デ、

而モ遠クマデ持ツテ行ツテ、非常ニ手數ヲ掛ケテ、サウシテ所謂御役人扱ヒデ、散々何處ガ惡イトカ此處ガ惡イトカ小突キ廻サレテ十五錢ニシカ賣レナイ、外ハ十八錢ニ賣レル、食用ニ賣ルト庭先デ、而モ畑カラ持ツテ行ツテ二十五錢カラ五十錢デ賣レル、ナゼサウカト云フコトガ農村人ニ取ツテハ分ラヌ、私ノ方デハ仕方ガアリマセヌカラ、「アルコール」工場ヘ出スノト、燒酎會社、澱粉工場ヘ出スノト、村農會、産業組合ガ一手ニ引キ受ケマシテ、サウシテ費用ヲ全部纏メテ、一俵單位ニ割ツテ費用ヲ割リ戻スト云フ所モアルノデアリマス、何時カモ御話ガ出マシヤウニ、「アルコール」工場ヘ出スト云フコトニ對シテハ、芋ヲ作ラヌ人ハ芋ヲ買ツテ出スト云フヤウナコトデ、非常ニ農村人トシテ實ヲ言フト迷惑ガツテ居リマス、或ル地方デハ村ノ名譽職ノ方々ガ、全部之ヲ所謂名譽稅トシテ出シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、殊ニ今度ハ政府デ食糧トシテ買上グルト云フコトナリマス、此ノ値段ヲ統一スルコトガ出來ナイカドウカ、殊ニ政府ノ買上グル分ダケデモ統一スルコトガ出來ナイカドウカ、政府ト燒酎會社、澱粉會社ト云フヤウニ、縣農會ガ各郡村ニ割當テル値段ダケデモ、統一スルコトガ出來ナイカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○岸政府委員 甘諸ノ價格ニ付キマシテ、價格ガ區々アルカラ一定スルコトガ出來ナイカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ過日石坂サンカラノ質問ニ對シテ、食糧管理局長官カラ御答ヘニナツタヤウニ、甘諸ノ値段ガ決マツテ來タノニハ色々沿革ガアリマシテ、初メニ無水「アルコール」ノ

原料トシテノ買上デ値段ガ決マリ、ソレカラ澱粉ノ原料ノ値段ガ決マリ、最後ニ食糧ノ値段ガ決マツタト云フヤウナ關係デ、無論其ノ間ニ品種的ノ關係モゴザイマスガ、サウ云フ時ヲ異ニシテ決マツタモノデアリマスカラ、ソレガ爲ニ値段ガ區々ニナツテ居ルト云フ狀態デアリマス、固ヨリ是ハ出來ルダケ其ノ間ニ矛盾ノナイヤウニシテ行カナケレバナラス、斯ウ考ヘテ折角研究シテ居ルノデアリマス

○渡邊委員 ソレカラ又土地ノ問題デアリマスガ、私ノ方デコンナ話ガアリマス、或ル農家ガ一町歩バカリノ土地ヲ耕シテ居タ、所ガ其ノ土地ノ耕作ヲ全部止シテ、工場ヘ働キニ行ク、ソレデ其ノ村ノ農會長ガ、此ノ際來ヲ澤山作ラナケレバナラス時ニ、米ヲ作ルノヲ止メテ、工場ニ出ルト云フヤウナコトハイカヌ、歸ツテ來テ田ヲ作ラナケレバイカヌト言ツタ所ガ、其ノ男ハ、田ヲ作ツテモ國家ノ爲ニナルシ、軍需工場ヘ出テモヤハリ國家ノ爲ニナルノダ、一體ドウチガ國家ノ爲ニ宜イノダト、却テ自分ハ反問サレテ困ツタト云フコトガアリマスガ、私ノ方ノ地方デモ、殊ニ工場地帯ニハ作物ヲ仕付ケルコトガ出來ナイデ、其ノ地方ノ人ガ寄り集マツテ、漸ク田ヲ植エタト云フヤウナ地方ガ方々ニアルノデアリマス、現在モ其ノ農家ノ主人ハ外ヘ出テ勤メテ居ル、アトハ肥料ハ碌ニ來ナイシ、手間賃ハ高イ、ダカラ肥料モ碌ニ掛ケナイシ、手間モ掛ケナイ、唯植エルダケト云フヤウニ、農業經營ガ段々向イテ行クノデナイカト思フ、サウ致シマスと收穫率ハ段々減ツテ行クト思ヒマス、政府ハ七千万石ノ増産計畫ヲ立テテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ増産計

畫ニ對シテ私共カラ考ヘテ見マス、何レモ皆惡條件バカリダト思ヒマス、開墾ニ依ル増産ト云ツテモ、サウシタ期待ガ果シテ出來ルカドウカ、ソレカラ品種ノ改良ニ依ル増産ガ何万石アルト云フヤウニ聞キマシテモ、害蟲驅除ニ依ル藥ガ無い、コンナ風ニ増産ニ對シテ何レモ惡條件バカリダト思フノデアリマス、此ノ上ハヤハリ喜ンデ其ノ任事ヲスルト云フヤウナ考ヲ、農村ノ全部ニ植エ付ケルコトガ一番大切ダト思ヒマスガ、農村人ガソナ風ナ考ニナツテ、皆工場ニ走ルト云フヤウナ傾向ニナツテ居ル此ノ時、農村ニ對シテ唯今マデ通りノコトデヤツタンデハ、到底増産ト云フヤウナコトハ期待出來ヌト思フノデアリマスガ、政府ハ此ノ七千万石ノ増産計畫ヲ完全ニ、普通ノ天候ダツタラ出來ルト云フ確信ガオアリカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○石黑國務大臣 七千万石ト云フ目標ガ果シテ適當ナリヤ否ヤト云フ問題ニ關シマシテハ、是ハ見方ニ依ツテ色々論議ガ出來ヤウカト思ヒマス、私自體ガ政府外ニ居リマシタ時ニハ、之ニ關シテ意見ヲ持ツテ居ツタ一人デアリマス、併シナガラ政府ガ目標ヲ此處ニ置キマシテ、年來努メテ來テ居ルト云フモノヲ、俄カニ廢スルト云フヤウナコトハ、是ハ到底出來ルコトデハナイ、相當ノ理由ガアツテ、相當ノ計算ニ依リマシテ、此處ニ目標ヲ置イテ、農村諸君ノ非常ナ努力ヲ要望致シマシテ、一石モ多ク増産ヲスルト云フコトニ、一國トナツテ邁進シテ來テ居ルノデアリマス、此ノ目標ハ俄カニ變ヘルコトガ出來ナイ、御話ノヤウナ惡條件ガ多ク重ナツテ居リマスルケレドモ、

條件ガ多ク重ナツテ居リマスルケレドモ、

ソレニ對シマシテハ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ供給ヲ餘計ニ致スヤウニ努メ、又注意モ十分ニ集中ヲ致シテ、精神力ノ發揮モ十分ニ要望ヲ致シマシテ、何トシテモ一石モ餘計ノ増産ヲ圖ルト云フコトニ不斷ノ努力ヲ注イデ参リタイト考ヘテ居リマス、其ノ結果ハ、目標ト致シテ居リマス所ヲ完全ニ達成ヲ致スト云フコトハ、天候ノ關係其ノ他惡條件ノ關係デ出來ヌカモ知レマセズケレドモ、目標トシテ進ム所ハ、相變ラズ其處ニ置キマシテ十分ノ努力ヲ盡シタイ、斯ウ云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○渡邊委員 農民トシマシテハ、ヤハリ政府ノ意圖ヲ體シテ一生懸命指導モシ働イテ居ルト思ヒマス、併シ政府ガ本當ニ考ヘテ企圖シテ居ルコトガ、農村ノ隅々マデ行ツテ居ルカト言ヒマス、私ハ可ナリ疑ハシイト思フノデアリマス、軍隊ノヤウニ司令官ノ意圖ガ一兵卒マデ行クヤウニ、ズツト隅々マデ通ツテ居ナイト云フノガ現在ノ狀況デアルト思ヒマス、政府ハ一ツデアリマスガ、政府ノ命令ナリ指導方針ナリガ縣ヘ行キ、或ハ縣農會或ハ産業組合ニ行ク、サウシテソレガバラ／＼ニナリ、至メラレテ農家一戸々々ニ行クト云フヤウナコトガ現狀デヤナイカト思フノデアリマス、農村ノ色々ノ團體ヲ統合スルト云フ話デ、私共非常ナ期待ヲ持ツテ見テ居タノデアリマスガ、今議會ニソレガ提案ニナラナカッタノハ洵ニ遺憾デアリマスガ、併シハ農林大臣カラ何時カ、非常ニ混亂スル虞ガアルカラト云フヤウナ御話デアリマシタ、併シコシナ命令トカ、指導方針トカ、或ハ下カラノ報告トカ云フヤウナモノヲ、今少シ統一スルコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、何カ農會、産業

組合、縣ノ農林課ト云フヤウナ方面ノ關係、連絡ヲ今少シ密接ニスルト云フヤウナ御考ヘガアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○石黒國務大臣 只今渡邊サンノ御指摘ノ點ハ非常ニ大事ナコトト考ヘルノデアリマス、御話ノヤウニ農林關係ノ團體ノ統合等ニ關シマシテハ努メテ参ツタノデアリマシタガ、今回ハ之ヲ提案スルニ至ラズシテ終ツタノデアリマス、其ノ事情ハ申上ゲタヤウニ、色々現下ノ急迫シタ事情ノ下ニ於テハ、却テ手續上色々混雜ヲ生ズルコトヲ避ケタイト云フ考ヘデアリマス、是ハ寧ロ積極的ニ現下ノ急迫シタ事情ニ應ズル爲ニ、統合ニ着手スルコトヲ控ヘタノデアリマスカラ、精神ハ御話ノヤウニ色々團體其ノ他ノ機關ガ分レテ居ツテモ、現下ノ時局ニ即應スルヤウニ、一團トナルト云フコトガ根本精神ナノデアリマスカラ、其ノ精神ニ本ヲ置キマシテ、機構ハ現存ノ儘デアアルガ、ソレヲ制用致シマシテ、シツカリト一團トナツテヤツテ行クト云フコトデ話合ヒヲ付ケテ参リタイ、是ハ議會デモ濟ミマシタナラバ速カニ各團體ニ呼掛ケマシテ、御指摘ノヤウニ密接ナ連絡ヲ執リマシテ、一團トナツテヤツテ行クト云フコトニ進ミタイト云フ、固イ覺悟ヲ持ツテ居リマス

○渡邊委員 ソレカラ先程問題ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ命令或ハ指導其ノ他ノコトニ關シテ、一番下部組織トシテ日曜モ休マズニ、朝カラ晩マデ働イテ居ルノハ農業技術員ダト思ヒマス、之ニ對シテ相當考慮ナサツテ下サルト云フコトハ洵ニ有難イコトデアリマス、私共非常ナ感謝ヲ以テ迎ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ唯俸給ノ値上ノミデ彼等ハ満足スルカト云フト、私ハサウデヤナイト思ヒマス、例ヘバ恩給ノ關係トカ、精神的トカ其ノ他ノ方面カラモ、之ヲ優遇シテヤルト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ何カ御考ヘガアリマスカドウカ

○石黒國務大臣 農業技術員ニ對シマスル待遇ノ問題ノミナラズ、精神的ニ之ニ對シテ獎勵優遇ノコトヲ十分ニ考慮シテ、何等カ適當ノ方法ヲ講ジタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○渡邊委員 最後ニ一ツ御伺ヒ致シマスガ、管理米ハ全部玄米ヲ以テ充テラレルコトニナツテ居リマス、私ノ茨城縣デハ、殊ニ舊水戸領デハ古クカラノ習慣デ、粃ヲ以テ取引カラ何カラ總テヤツテ居ツタノデアリマス、ダカラ玄米ニスルト云フコトニナルト、設備其ノ他ノ點ニ關シマシテ、又玄米ニスル手間ヲ省イテ、他ノ職業ニ、或ハ他ノ方ニ出稼ギスルト云フコトデ、其ノ努力ヲ他ノ方面ニ向ケテ居ルノデアリマス、所ガ現在ドウシテモ全部玄米ニシナケレバナラスト云フコトニナツテ、非常ナ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、是ハ茨城縣バカリデハナイト思ヒマス、他ニモコンナ習慣ガアルト思ヒマス、粃デ貯藏シテ置クト云フヤウナコトモ、水戸ノ古クカラノ研究ニ依リマスト相當利益モアルコトナノデアリマス、併シ現在マデソナ風ノ習慣ガアツタ地方ハ、便宜縣内消費タケデモ粃デ出スコトニ差支ヘナイヤウニスル御考ヘガアルカドウカ、此ノ點ヲ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○石黒國務大臣 御承知ノ通りニ、米穀ノ國家管理ヲ強度ニ進メマシタコトハ此ノ十一月カラノコトデゴザイマスノデ、マダ此ノ制度モ新タニ着手ヲ致シマシテカラ間モナイノデアリマス、隨ヒマシテ色々ノ點デ急ヲ要シマシタガ爲ニ、改善ヲ致スベキ餘地モアルト考ヘマス、御話ノヤウナ取引ノ行ハレテ居ル地方モ、或ハ長野縣デアルトカ、山梨縣デアルトカ云フヤウニ、渡邊サンノ御地方ノヤウナ慣行ノアル所ガボツボツアルヤウニ承知ヲシテ居リマス、ソレ等ノ地方ニ對シマシテドウ云フ風ニスルカト云フコトハ、是ハ十分ニ研究ヲシテ、出來ルダケ便宜ノヤウニ考ヘタイト思ツテ居リマス、御話ノヤウニ、若シ長ク貯藏スルト云フヤウナ點カラ考ヘマスレバ、或ル程度ノ粃ノアルト云フコトモ國家ノ管理米ガ多量ニナリマスル際ニ於テハ、考慮ヲ致スベキコトカト考ヘテ居リマスノデ、十分ニ考ヘマスガ、唯差當リ急行致サナケレバナラス必要ニ迫ラレテノ國家管理制度ト致シマシテハ、國ノ大部分ニ行ハレテ居リマス玄米取引ト云フコトニ原則ヲ置キマシテ、ソレデ取敢ズ制度ヲ行ツテ行クト云フ以外ニ方法ガナカツタ譯デアリマスルカラ、是等ノ點ハ今後管理制度ノ運行ノ進ミマスニ連レマシテ、十分ニ考慮致シタイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 私人質問ハ終リマシタ

○村上委員長 三善信房君

○三善委員 今回土地開發營團ヲ御設ケニナリマシテ、長期ニ互ル土地ノ開墾及改良等ヲナサルコトニナツテ居リマスガ、開發營團ト云フノト、一般ノ國策會社ト云フノトハドウ云フ風ニ違ツテ居ルノデアリマセウカ、從來ノ國策會社ト申シマスノハ、生産或ハ配給ノ統制ノ爲ニ出來テ居ル會社デアツテ、勿論此ノ國策會社ハ營利ヲ目的

トシテ居ルトハ言ハレヌト思フノデアリマス、今回ノ營團モ亦營利ヲ目的トシテ居ルモノデハナイト云フ御説明ハ本會議デ承知致シテ居リマス、然ラバ國策會社ト其ノ内容ニ於テモ餘リ變ラヌヤウデアリマスガ、特ニ營團ト云フ名稱ヲ付ケニナリシタノハドウ云フ意味デアリマセウカ、或ハ是ガ民法上ノ關係、或ハ商法上ノ關係ハ如何ナルコトニナルノデアリマスカ、一般ノ會社デモナシ、或ハ社團法人、財團法人ト云フヤウナモノトモ違ツテ居リマスノデ、其ノ點ニ付キマシテ何カ法的根據ニ付テ御説明ガアレバ結構ダト思ヒマス

○石黑國務大臣 營團ト云フモノハ、最近ニ於テ現ハレマシタ一ツノ法人デゴザイマスガ、是ハ多分ニ公益ノ目的ヲ持ツテ居リマスル私法人ト云フ大體ノ解釋デ居リマス、所謂特別法人デアル、國策會社ト稱セラレテ居リマスモノハ、殆ド全部商法上ノ株式會社デ、隨テ目的ハ國策ニ順應シテ會社目的ト致シマスル所ヲ、成ベク公益的ニ運行致シマスルノデアリマスガ、併シ其ノ形態ニ於キマシテ株式會社デアルノデアリマスルカラ、隨ヒマシテソレノ意思決定ノ機關トシテハ、ヤハリ株主總會ガアルト云フヤウナコトヲ變ヘル譯ニハ參ラナイ、然ルニ營團ノ方ハ意思決定ノ爲ニ總會ヲ持ツテ居ルト云フヤウナコトハゴザイマセヌノデ、意思ノ決定ハ理事ニ於テ之ヲヤルコトニ相成ルノデアリマセウ、ソレデ此ノ公正ヲ期スル爲ニ嚴重ナ官廳ノ監督モアリ、又諮問ノ機關ヲ設ケルト云フヤウナコトハ無論出來テ居リマス、サウ云フコトニナツテ居ル、而シテ構成モ、餘リ多數ノ株主ニ出資ヲ求メルト云フヤウナコトモナイノデアリマス、

國家ガ多分ノ出資ヲ致シ、一半ヲ民間ノ出資ニ求メル、併シ民間ノ出資ニ求メテモ餘リ多數ノ出資者ヲ要求スルト云フ組織デナイ、即チ多數ノ個人ガ株式ニ投資スルト云フ考デ出資スルト云フ觀念ガ甚ダ薄イノデアリマス、ソレ等ノ點ガ所謂國策會社ト違ツタ點ト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ運用ヲ致シマスル理事等ニ對シマシテモ、政府ノ代行機關トシテヤラセルト云フ考デ、政府任命デヤツテ行クト云フコトニ依ツテ、農地開發ノ國家目的ヲ達成シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ法律上ノ性質其ノ他ニ付キマシテ、詳細ナコトノ御説明ヲ申上ゲル必要ガアリマスレバ、政府委員カラ申上ゲマス

○三善委員 私ハ何モ名稱ニコダハツテ申上ゲルノデハアリマセヌガ、初メテ新シキ名稱ヲ聽クノデアリマスルカラ、一應其ノ内容性質ヲモ承ラナケレバナラヌト思ツテ申上ゲタ譯デアリマス、只今ノ御説明ニ依リマス、第一出資者ガサウ多クノ者デナクシテ、一般ニ此ノ出資者ガ株式ニ投資スルト云フヤウナ觀念デナクテ、公共ノ爲ニ出資者モ餘リ多數デナイヤウニスルト云フ

ノガ一點ト、此ノ營團ノ意思決定ヲ爲ス場合ニハ所謂出資者ノ總意ニ依ラズシテ、指導者タル所謂理事ノ理念ニ依ツテ決定セラレベキモノダト云フヤウナ點ガ違ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、サウシマス此ノ開發營團ニ對シマシテハ、成ベク少數ト言ヒマスナラバ、政府若クハ公共團體デ此ノ營團ヲ組織スル、斯ウ云フ風ニ限ツタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマスガ、出資者ヲ帝國臣民一般ニ求メルト云フコトニナリマ

スト、非常ニ數ガ多クナツテ、其ノ總意ヲモ聽カナケレバナラヌト云フヤウナ場合モ起ラナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、此ノ點ハ如何ニ考ヘラレルヤ承リタシ

○石黑國務大臣 法案ハ最近ニ出來マシタ一、二ノ先例ノ令文ヲ以テ組織等ガ書イテゴザイマス、他ノ營團ニシテモ大體サウ云フ性質ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ農地開發營團ハ特ニ其ノ點少數ノ公共的ノ出資者ニ事實上致シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、即チ三善サンノ只今ノ御指摘ノヤウナ趣旨ニ事實ヤツテ參ル計畫デ居ル、唯提出致シマシタ法案ニハ、帝國臣民ト云フコトノ制限ノ下ニ、比較的廣ク出資シ得ルヤウニ書イテアリマスケレドモ、事實ハ政府ノ出資ト、アト二三ノ公共的出資者ニ依ツテ成立ヲサセタイ、又サセル計畫デ居リマス

○三善委員 大體大臣ノ今ノ御答辯ニ依ツテ分リマシタ、其ノ出資者ガ極ク少數ノ、所謂公共團體ニ限ルト云フコトニナリマスレバ、別ニ深く考ヘル必要モナイカト思ヒマスノデ、此ノ點ハ是レ以上申上ゲマセス、此ノ法的根據ニ付キマシテハ、又他ノ機會ニ讓ル事ト致シマス、此ノ營團ハ五十萬町歩ノ開墾ト、百七十三萬町歩ノ土地改良ヲ目的トシテ居ラレマスガ、曩ニ大臣ノ御説明ニ依リマス、米ハ昭和二十七年ニ千二百萬石ノ増産ニナリ、麥ハ昭和二十八年ニ千二百萬石ノ増産ニナリマシテ、即チ本年度カラ十二箇年目ニ、米ハ八千二百萬石ヲ確保スルコトガ出來ル、麥ハ二千五百萬石ヲ確保スルコトガ出來ル、斯ウ云フ御説明デ現在ノ米ノ生産高ガ七千百萬石デナクテハ

ナラヌト思ヒマス、而シテ麥ハ千三百萬石ヲ標準トシテ居ラレルト思ヒマス、ソコデ先程他ノ委員カラモ御話ガアリマシタガ、七千百萬石ノ米ガ、果シテ今直チニ生産可能デアルカドウカト云フコトニ付キマシテ

ハ——目標ハ勿論ソコニ置カナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、今マデ二十年來一度モ七千萬石ヲ越エタコトハナイ、僅カ七千萬石程度ノ時ガ一回アツタカト思ヒマスガ、ソレ以外ハ七千萬石以上生産ガアツタコトハナイト思ヒマス、其ノ一番生産ノ多い年以上ノ七千萬石ヲ基準ニシテ此ノ計畫ヲ御進メニナルコトハ、將來ノ米ノ需給推算ニ於テ相當支障ヲ來シハシナイカ、此ノ點ニ付テ心配ヲ持ツノデアリマス、私ハ少クトモ基準ハ最近五箇年平均トカ、或ハ十箇年平均ヲ基準ニサルコトガ最モ必要デハナカラウカト思ヒマス、私ガ斯様ニ申シマスノハ、米ハ天候ニ支配サレルトコトガ一番多イノデアリマスカラ、如何ニ政府ガ努力サレデモ、又努力シテ戴カナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、天候ニ支配サレル農作物デアリマスカラ、安全性ヲ取ル上カラ申シマスレバ、五年乃至十年ノ平均ヲ取ツテ、ソレヲ基準ニシテ將來ノ需給推算ヲ立テラレル必要ガアリハシナイカト思ヒマス、斯様ニ考ヘテ參リマス、先ヅ米ハ六千五百萬石程度ガ適當デハナカラウカト考ヘマスシ、麥ハ多ク見積ツテモ千萬石程度ガ適當デハナカラウカト思ヒマス、是等ノ數字ハ實ハ非常ニ多ク見積ツタノデアリマシテ、之ヲ十年平均トカ或ハ二十年平均ヲ取リマス、モツト低イモノニナリマスケレドモ、政府ガ非常ニ最近努力シテ居ラレマスカラ、其ノ努力ノ效果ガ相當舉ルモ

ノト假定致シマシテ、米ハ六千五百万石、麥ハ千万石位ヲ基準トシテ、之ニ今後或ハ土地ノ開墾及ビ改良ニ依ツテ増加スル米麥ノ數量ヲ加算スルコトガ、需給推算ノ上ニ於テ最モ必要デハナカラウカト考ヘマス、ソコデ私ノヤウニ計算致シテ參リマス、ヤハリ十二年後ニ於キマシテハ、米ニ對シテ六百万石ノ違ヒガ起ツテ參リマス、麥ニ對シテ三百万石ノ相違ガ起ツテ來マス、而シテ一面人口問題ヲ考ヘテ見マス、人口ハ先ヅ十二年後ニ千万人ノ増加ト見テ宜シト思ヒマス、一千万人ノ人口ガ増加致シマスレバ、少クトモ之ニ要スル米ハ千万石ヲ要シマス、ソレデ政府ガ折角土地開墾及ビ改良ニ依ツテ増産計畫ヲサレマシテモ、結局今ノ狀態ト餘リ大差ガナイヤウニナリハシナイカト云フコトニ、結論付ケラレルノデハナイカト思ヒマス、而モ又人口ノ増加ト共ニ、動物資源モ相當ニ増加致シテ參ルト思ヒマス、是ハ牛馬其ノ他ノ動物ニ付キマシテ、政府ノ方デモ増産計畫ヲ立テテ居ラレマスノデ、數千万頭ノ大動物ガ増加致シテ參ルト思ヒマス、是等ノ飼料ト云フコトヲ考ヘマシテモ、ヤハリ飼料ハ田畑カラ生産スル以外ニ方法ハナイノデアリマスカラ、人口ノ増加ト動物ノ増加、其ノ食糧及ビ飼料ト云フコトカラ脱合ハセマシテ、果シテ此ノ政府ノ開墾及ビ改良ニ依ツテ將來ノ需給ガ滑カニ行クノデアリマセウカ、私ハ此ノ點ニ非常ニ疑念ヲ持ツノデアリマス、ソコデ私ガ申シマス所ノ、外米依存ハ成ベク早く脱却シナケレバ、所謂内外地ニ於テ自給自足ノ途ヲ講ゼナケレバナラヌト云フコトモ、何時マデモ實現ガ出來スノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘラレルノ

デアリマス、隨テ外地ニ於キマシテモ増産計畫ヲ樹テナケレバナラヌト思ヒマスガ、外地ニ於テハ別段大規模ノ増産計畫ハナイト思ヒマス、更ニ又外地ノ人口モ相當増加シ、殊ニ外地ノ米食ノ増加ト云フモノハ近時著シキモノガアリマス、朝鮮ノ如キ、或ハ臺灣ノ如キ、其ノ米食ノ一人當リノ消費量ノ増加ト云フモノハ非常ニ多イノデアリマシテ、此ノ一度生活方向上致シタノヲ、元ノ通りニ減ズルコトハ容易デナイト思ヒマス、過去ノ戰爭ノ後ヲ見マシテモ、或ハ明治二十七八年戰役、或ハ日露戰爭歐洲戰爭ノ時分ニ、一時非常ニ米ノ消費ガ多クナリマシテ、其ノ後ハヤハリ此ノ増加シタノガ基準トナツテ増加率ヲ示シテ居ルヤウデアリマスカラ、今回ノ米ノ増加ヲ戰前ノ元ニ引戻シ、消費量ヲ少クシヨウト云フコトハ、容易ナコトデハナイト思ヒマス、ソコデヤハリ米食ト云フモノハ相當増加スルモノト考ヘナケレバナラヌ、殊ニ外地ノ米ノ消費量ハ、ヤハリ増加ノ一途ヲ辿ルト考ヘナケレバナリマセス、内地ガ外地ノ移入ニ依ツテヤツト需用ヲ充シテ居ルヤウナ情勢ニ於キマシテハ、外地ノ米食ガ増加致シマスル、多クノ移入ヲ望ムコトモ困難デハナイカト思ヒマス、ソコデ外地ノ人口ノ増加ト共ニ、外地ニ於キマシテモ積極ナル土地ノ開墾ヲナサナケレバナラヌデハナカラウカト思ヒマス、而モ朝鮮及ビ臺灣等ニ於キマシテハ相當ノ面積ガアリ、又干拓事業ニハ、朝鮮ノ如キハ最モ適當致シテ居リマスノデ、是等ノ土地ヲ開墾シ、或ハ開拓致シマスナラバ、相當ノ米麥ノ増産ハ出來ルコトダト思ヒマス、是ニ於テ初メ内外地ヲ一貫シテ米ノ需給關係ヲ推算スルコトガ出來マス、

斯様ナ見地ニ於テ人口問題ト脱合ハセテ其ノ需給計畫ガ分ツテ居リマスナラバ、此ノ際御聽キ致シタイト思ヒマス、需給計畫ハ秘密ニ屬スルコトデアルカラ、公開ノ席上デ若シ御答ヘガ出來ナイト云フコトデアリマスナラバ、或ハ適當ナ機會ニ秘密會デモシテ、開墾及ビ土地改良ニ伴フ今後ノ需給計畫ニ付テ承知致シタイト思ヒマス、若シ此ノ席デ御答ヘガ出來マスナラバ、其ノ點ヲ御聽キ致シタイト思ヒマス、又大臣ヨリ、先程私ガ申上デマシタ基礎數字、所謂現在ノ基準ヲ六千五百万石、或ハ麥ハ千万石、斯ウ云フ風ニ見ルコトガ誤リデアリマセウカ、政府ノ數字ヲ基準トシテ將來ノ米ノ需給計畫ヲ立テルコトハ、如何ニモ危險ガ多イヤウニ考ヘマスノデ、此ノ點ヲ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 三善委員カラノ御尋ネノ、内外地ヲ通ズル問題ニ付テハ、大臣ガ御話シ下サルト思ヒマス、私ハ今度ノ増産計畫ニ付テ先ヅ申上デマス、先程大臣カラ御説明ガアリマシタヤウニ、此ノ十箇年ノ食糧増産計畫ハ現在ノ數量ヲ基準ニシテ、ソレニ對シテ米ヲ千万石、麥ハ千二百万石ノ増産ヲヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、其ノ米ノ基準ハ少シク高過ギルノデハナイカト云フ御尋ネガアリ、之ニ關聯シテ最後ノ増産目標ト云フモノハ、米ニ於テ相當減ズル必要ガアルノデハナイカト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、現在ノ基準増産目標ノ七千万石ガ、非常ニ難シイ數字デアルト云フヤウナ論ニ付テハ、只今別ノ方カラ御質問ガアリ、大臣カラ御答ヘガアリマシタ、固ヨリ色々見方ガアルト思ヒマス、ケレドモ諸般ノ施設ヲヤツテ努力ヲ傾注シテ行クト云フコトニ於テ、吾々ハ是非實現シテ見タイト思ツテ居リマス、固ヨリ六千五百万石ト云フ見方ハ非常ニ御手堅イ所ダト思ヒマスガ、ソレヲ突破シテ居ルモノモ幾ラモアルノデアリマスカラ、ソレダケノ基準ヲ置イテモ將來ノ増産ノ施設ト相俟ツテ、十年後ニ於ケル増産目標ヲ八千二百万石ニ置イテモ宜イノデハナイカト信ジテ居リマス、ソレカラ此處ニ掲ゲテアル麥ハ、大麥、裸麥ガ中心デアリマス、ソレニ合作ニ植エマス所ノ甘藷等モ考ヘテ居リマスガ、基準ハ千万石ニ置イテ居リマスノデ、大體此ノ方面ハ三善委員ノ御意見ト一致シテ居ル次第デアリマス、此ノ外ニ小麥ト云フモノガ現在ノ數量存在シテ居ルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、サウ云フヤウナ譯合デ、増産ノ目標トシテハ、此ノ數字ヨリ十年後ノ八千二百万石、麥類ニ於テ二千五百万石ト云フコトデ支障ガナイガラウ、斯ブ云フヤウニ信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ飼料ノ關係ガアリマシタガ、此ノ計畫ニ於キマシテモ、飼料ノ關係ヲ考慮致シマシテ、合作ノ一部ハ飼料トシテ使フト云フ計畫デ進ンデ居リマス、特ニ此ノ經營ニ於キマシテハ、自作農ニ於テハ相當面積ノ農家ヲ創定シ、其ノ經營上下ウシテモ有畜農業ヲヤルト云フヤウナ關係デ、ソレノ農家ニ付テハ自給スルヤウニ考ヘマスノデ、飼料ノ點モ相當ニ考慮致シテ居リマス、大體以上デ御答ヘ申上ゲタ積リデアリマス

○石黑國務大臣 三善サンノ御尋ネノノ内外地ヲ通ジテノ食糧ノ増産計畫、竝ニ人口増殖ノ將來ヲ考ヘテノ開發ノ計畫案アリヤト云フコトデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り朝鮮、臺灣ソレノニ於テ嘗テ立テタモ

ノガアリマス、併シ斯ウ云フ時代ニナリマシテカラ、特ニ連絡のニ立テタモノハナイノデアリマス、最近朝鮮等ニ於キマシテ取敢ズ雜穀ノ増産ニ付テ計畫ヲ立テタモノガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、米ニ於テ特ニ内外地ヲ通ジテ綜合的ノ増産計畫ハマダヤツテ居リマセヌ、此ノ點ハ是非必要ナコトデアリマスカラ、政府トシテモ基本的ナ政策ト致シマシテ、内外地ヲ通ズル斯ウ云フ問題、進ンデハ滿洲ノ將來ト云フモノモ計畫ノ中ニ入レナイマデモ、少クトモ考慮ノ中ニ入レテ、内外地ヲ通ジテノ計畫ヲ立テルト云フコトニ致シタイ、此ノ點ニ重キヲ置キマシテ綜合連絡ノ案ヲ立テルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ本案ノ提出ノ理由ヲ申上ゲタ際ニ、申上ゲテ置イタ通りデアリマス、而シテソレ等ノ綜合案ノ一部分トシテ、此ノ農地開發ノ案ヲ御覽戴クコトガ最モ當ラ得テ居ルカト存ジマス、併シソレハ色々ナ關係デ以テ手取り早ク纏マラナイト云フ場合ニ、本案ヲ差控ヘルベキカ否カト申シマス、是ハ差控ヘテハナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、御話ノ通り外米依存ヲ食糧問題ノ上ニ於テ出來ルダケ避ケナケレバイカス、出來ルダケ早ク離脱致サナケレバイカスト云フコトハ御言葉ノ通りデアリマス、併シ目下ノ狀態ハドウカト申シマス、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、前回ノ御決議ニ即時離脱ト云フコトガアリマスガ、是ハ只今政府ノヤツテ居リマス外米ノ輸入ノ計畫ヲ停止セヨト云フ御命令デハナイト私ハ解釋シテ居ル、極度ノ外米依存ト云フコトヲ成ベク速カニ避ケルヤウニセヨト云フ御希望ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ

全ク政府ト致シマシテモ同意ナノデアリマス、ソレノ爲ニコソスノ如キ自給度ヲ増進致シマス案ヲ提出致シマシタ譯ナノデアリマス、外國米依存ヲ出來ルダケ避ケナケレバナラスト同時ニ、外地米移入ヲ何時モ平常時ノ如ク考ヘテ行クコトガ宜シイカドウカト云フ問題モ、次ニハ考ヘナケレバナラスト問題ダト思フ、外地ノ新附ノ吾々ノ同胞ハ、吾々ト同ジヤウナ國民意識ニ持チ來サナケレバナラストノデアリマスケレドモ、二千年ノ沿革ヲ持ツテ居リマス吾々ト同ジ國民意識ヲ、長クテモ數十年ノ間位ノ所デ持タセルコトハ出來ナイノデアリマス、サウスルト國際情勢ノ如何ト云フコトニ依リマシテ、此ノ外地ノ統治ノ任ニ當ツテ居リマス者ガ、食糧上ノ保安ヲ圖ル上ニ於キマシテ、内地ニ平時ノヤウナ米穀ノ移出ヲ致スコトヲ難シト致ス事情ノ來ルコトハ想像シナケレバナラスト、此ノ點ガ本年アタリ相當ノ收穫モ見タノデアリマスカラ、内地ニ移入米ヲ吾々ハ要望致シ、期待ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、無理ニ持チ來スコトノ出來ナイ理由デアアルノデアリマス、サウス云フコトヲ考慮ノ中ニ入レマスル場合ニ、特ニ又内地未開發地ノ開發、竝ニ水利未改良地ノ水利改良ト云フコトガ非常ニ必要ナコトニナツテ參ルノデアリマス、吾々ノ祖先ガ利益上ノ打算カラ開墾ヲ致シ、開田ヲ致シタコトモ無論アリマセウガ、必ズヤ初メノ開墾開田ト云フモノハ、ヤツタ人ニ對シテ報イラレテ居ラナイ場合ガ多イ、而モ後ノ時代ニナツテ參リマストソレハ立派ナ美田トナツテ居リ、開墾地トナツテ吾々ニ豐富ナル農産ヲ與ヘ、經營者ニ相當ノ利益ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點

ヲ考慮致シマシテ、最モ公益的ノ英斷ヲ以テマシテ政府ニ代リマシテ土地ノ開發、水利ノ改良ヲ代行セシメルト云フコトヲ今日着手致サナケレバ機ヲ失スルコトヲ考ヘマシテ、此ノ案ヲ提出致シマシタ譯デアリマス、故ニ仰セノ内外地ヲ通ジテノ増産案ト云フモノガ出來マシテ、ソレト描ヘマシテ、御審議ヲ戴クコトガ最モ當ラ得テ居ルヤリ方ニハ違ヒアリマセヌガ、サウス云フ譯ニハ參リマセヌ現狀ニ於キマシテ、此ノ案ダケヲ提案致シタ譯デアリマス、事情ヲ御諒察ノ上ニ自給度ノ強化ノ爲ニ、内地開發ノ本案ニ御賛成戴キタイト願フノデアリマス

○三善委員 私モ只今大臣ノ御述ベニナリマシタヤウニ、國土開發ノ必要ナルコトハ今更申スマデモナイコトデアリマシテ、既ニ其ノ開發ガ遲レテ居ル位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ其ノ開發ニハ勿論私共ハ反對ヲスベキモノデモアリマセヌ、大イニ歡迎シナケレバナラスト思ヒマスガ、殊ニ我が國ノ食糧問題ノ長期ニ互ル需給關係ヲ見マス時ニ、一日モ早ク外米依存ヲ脱却スル爲ニハ國土ノ開發以外ニ途ガナイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ハ能ク了承致シマス、併シナガラ此ノ國土ノ開發ヲ爲スト共ニ、内地ダケデハイケナイ、内外地一貫シテ開發シナケレバナリマセヌ、即チ米ノ問題ハ内地ダケノ問題デハナクシテ、寧ろ外地ニ俟ツコトガ非常ニ多イ、ソレデ外地ノ開發ヲセナケレバ、内地ダケノ開發デハ將來ノ需給ニ支障ヲ來スノデハナイカト思ヒマスノデ、先程御尋ネシタヤウナ次第デアリマス、尙ホ需給ノ推算等ニ付キマシテハ適當ナ機會ニ正確ナル數字ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、長期ニ互ル開

發ト同時ニ應急的ノ施設、是ガ開發以上ニ考ヘナケレバナラスト問題ダト思ヒマス、現ニ外米ヲ毎年多額ノ國帑ヲ出シテ輸入致シテ居ルヤウナ狀態デアリマスガ一朝事有ル場合ニハ、外米輸入ハ容易デナイト考ヘマスノデ、一日モ早ク外米依存ヲ脱却スル爲ニ應急的ノ施設ニ對シテ更ニ要望スルモノデアリマス、ソコデ先程御説明ノ現在ノ基準ヲ七千万石ニ置クト言ハレマシタガ、目標ハ私ハ七千万石ドコロデハナイ、モツトソレ以上ニ置イテモ宜イト思フ、國民ニモツト増産セナケレバナラスト、政府ハ七千五百万石目標ニ増産ヲスルト言ツテ、一般ヲ刺戟シ、指導スルコトモ宜シイト思ヒマス、併シナガラ實績ハ如何トモスルコトガ出來ヌノデ、需給推算ヲ爲ス上ニ於キマシテハ、基準ハ從來ノ實績ニ御據リニナラナケレバナラスト思ヒマス、即チ實績ヲ見テ御計算下サルコトガ誤リナイ方法ダト思ヒマス、併シ七千万石ヲ基準トシテモ間違ヒナイト言ハレルナラバ、七千万石ヲ獲ルダケノ施設ヲシテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、是ハ更ニ後刻申上ゲタイト思ヒマスガ、其ノ點ハ充分御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、尙ホ飼料ト人口問題デアリマスガ、動物ノ増加ニ對シテ飼料モ考ヘテ居ルト言ハレマスケレドモ、限ラレタル土地ニ飼料トシテ別ニソレダケ増産ヲスルナラバ、米麥ノ増産ガソレダケ少クナツテ參リマス、又米麥ノ中例ヘバ麥ヲ飼料ニスルコトニナリマスレバ、食糧ガ不足ヲ來スコトニナリマス、ヤハリ飼料ト食糧ト云フモノハ同様ニ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマスカラ、別個ニ御考ヘニナルト云フナラ、別個ニ又開墾スルト云フ御考ヘニナラナケレバナラスト

發ト同時ニ應急的ノ施設、是ガ開發以上ニ考ヘナケレバナラスト問題ダト思ヒマス、現ニ外米ヲ毎年多額ノ國帑ヲ出シテ輸入致シテ居ルヤウナ狀態デアリマスガ一朝事有ル場合ニハ、外米輸入ハ容易デナイト考ヘマスノデ、一日モ早ク外米依存ヲ脱却スル爲ニ應急的ノ施設ニ對シテ更ニ要望スルモノデアリマス、ソコデ先程御説明ノ現在ノ基準ヲ七千万石ニ置クト言ハレマシタガ、目標ハ私ハ七千万石ドコロデハナイ、モツトソレ以上ニ置イテモ宜イト思フ、國民ニモツト増産セナケレバナラスト、政府ハ七千五百万石目標ニ増産ヲスルト言ツテ、一般ヲ刺戟シ、指導スルコトモ宜シイト思ヒマス、併シナガラ實績ハ如何トモスルコトガ出來ヌノデ、需給推算ヲ爲ス上ニ於キマシテハ、基準ハ從來ノ實績ニ御據リニナラナケレバナラスト思ヒマス、即チ實績ヲ見テ御計算下サルコトガ誤リナイ方法ダト思ヒマス、併シ七千万石ヲ基準トシテモ間違ヒナイト言ハレルナラバ、七千万石ヲ獲ルダケノ施設ヲシテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、是ハ更ニ後刻申上ゲタイト思ヒマスガ、其ノ點ハ充分御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、尙ホ飼料ト人口問題デアリマスガ、動物ノ増加ニ對シテ飼料モ考ヘテ居ルト言ハレマスケレドモ、限ラレタル土地ニ飼料トシテ別ニソレダケ増産ヲスルナラバ、米麥ノ増産ガソレダケ少クナツテ參リマス、又米麥ノ中例ヘバ麥ヲ飼料ニスルコトニナリマスレバ、食糧ガ不足ヲ來スコトニナリマス、ヤハリ飼料ト食糧ト云フモノハ同様ニ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマスカラ、別個ニ御考ヘニナルト云フナラ、別個ニ又開墾スルト云フ御考ヘニナラナケレバナラスト

發ト同時ニ應急的ノ施設、是ガ開發以上ニ考ヘナケレバナラスト問題ダト思ヒマス、現ニ外米ヲ毎年多額ノ國帑ヲ出シテ輸入致シテ居ルヤウナ狀態デアリマスガ一朝事有ル場合ニハ、外米輸入ハ容易デナイト考ヘマスノデ、一日モ早ク外米依存ヲ脱却スル爲ニ應急的ノ施設ニ對シテ更ニ要望スルモノデアリマス、ソコデ先程御説明ノ現在ノ基準ヲ七千万石ニ置クト言ハレマシタガ、目標ハ私ハ七千万石ドコロデハナイ、モツトソレ以上ニ置イテモ宜イト思フ、國民ニモツト増産セナケレバナラスト、政府ハ七千五百万石目標ニ増産ヲスルト言ツテ、一般ヲ刺戟シ、指導スルコトモ宜シイト思ヒマス、併シナガラ實績ハ如何トモスルコトガ出來ヌノデ、需給推算ヲ爲ス上ニ於キマシテハ、基準ハ從來ノ實績ニ御據リニナラナケレバナラスト思ヒマス、即チ實績ヲ見テ御計算下サルコトガ誤リナイ方法ダト思ヒマス、併シ七千万石ヲ基準トシテモ間違ヒナイト言ハレルナラバ、七千万石ヲ獲ルダケノ施設ヲシテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、是ハ更ニ後刻申上ゲタイト思ヒマスガ、其ノ點ハ充分御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、尙ホ飼料ト人口問題デアリマスガ、動物ノ増加ニ對シテ飼料モ考ヘテ居ルト言ハレマスケレドモ、限ラレタル土地ニ飼料トシテ別ニソレダケ増産ヲスルナラバ、米麥ノ増産ガソレダケ少クナツテ參リマス、又米麥ノ中例ヘバ麥ヲ飼料ニスルコトニナリマスレバ、食糧ガ不足ヲ來スコトニナリマス、ヤハリ飼料ト食糧ト云フモノハ同様ニ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマスカラ、別個ニ御考ヘニナルト云フナラ、別個ニ又開墾スルト云フ御考ヘニナラナケレバナラスト

ト思ヒマス、人口ノ問題ハ、前申シマシタ
ヤウニ十二年後ニ千万人ノ人口ガ増加スル
ト云フコトニナリマス、此ノ食糧計畫ヲ
以テハ自給ハ出来ナイデヤナイカト云フ結
論ニナルト思ヒマスカラ、此ノ點ハモウ一
應御研究ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス
○村上委員長 本日ハ午後開會スル積リデ
アリマシタガ、速記其ノ他ノ都合デドウニ
モイケナイヤウデアリマスカラ、已ムヲ得
ズ午後ハ開カヌコトニ致シマス、明日午前
十時カラ開會スルコトニシテ、本日ハ是ニ
テ散會致シマス
午後零時一分散會

昭和十六年三月十八日印刷

昭和十六年三月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局